新年のご挨拶

中国しんきん健康保険組合
理事長　山本　徹

新年あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族のみなさんにおかれましては、すこやかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、平素より当健保組合の事業運営に関しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国は、急速に高齢化が進行し、それにともない国民医療費の増加が続いております。平成20年4月に新しい高齢者医療制度がスタートし、健保組合等に納付金・支援金として重い負担が課せられたことによって、健保組合財政は厳しさを増しております。

健康保険組合連合会が公表した20年度の健保組合全体の決算見込は、３０６０億円という大幅な経常赤字となりました。さらに、21年度の予算においても、６１５２億円という大幅な経常赤字が見込まれており、9割以上の健保組合が赤字予算の編成を余儀なくされております。経済状況の悪化による影響もあり、健保組合の自助努力だけでは、安定的な運営が難しいのが実情です。

昨年8月30日の総選挙で鳩山内閣が発足し、今後は、医療保険制度の見直しが行われることが予想されます。先を見通すことは非常に困難な状況ですが、高齢者医療制度の見直しが行われ、適切な公費投入を背景に持続可能な医療制度となることが期待されます。当健保組合としましても、時勢を見極め、より効率的な事業展開に努めてまいります。

健保組合の使命は、質が高くきめ細やかな保健事業を通じてみなさんの健康をサポートし、ひいては医療費削減につなげていくことであると考えております。特定健診・保健指導を中心に疾病予防事業に取り組み、より一層、みなさんの健康向上に資する所存です。

みなさんにおかれましても、「健康は自らつくるもの」という意識をもって心身の健康に留意され、本年も充実した日々を過ごされますようお願いいたします。

最後になりましたが、本年がみなさんにとって幸多き一年となることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。